

■ 斎藤 成也 (名誉教授)

東京大学理学部生物学科人類学課程卒業、東京大学大学院理学系研究科人類学専攻博士課程、テキサス大学ヒューストン校生物医科学大学院修了。東京大学理学部生物学科助手などを経て、1991年に国立遺伝学研究所に着任。教授を経て、2022年より国立遺伝学研究所名誉教授。

■ 木村資生博士生誕100周年によせて

1976年、私が大学2年生の時に、1年上の先輩から、中立説を知っているかと聞かれましたが、はじめて聞く名前でした。また私は当時仏教に傾倒しており、中論をすこしかじっていたので、中立説がそれと響き合う名前だったのがもうひとつの理由で、さっそく中立説を理解しようと勉強を始めました。中立説の根幹である偶然によって遺伝子頻度が変化する過程は、集団遺伝学の理論で記述されていたので、木村先生が書かれた『集団遺伝学概論』を読みましたが、よくわかりませんでした。そこで大学の先輩だった青木健一さんが当時木村先生のおられた国立遺伝学研究所に勤務されていたので、青木さんを頼って木村先生にお会いしました。これが木村先生と直接面会した最初でした。

